

鬼北町議会 12月定例会

第4回鬼北町議会は12月15日に開催されました。提案された議案7件、請願4件のうち、請願4件については常任委員会付託となり、その他の案件については原案のとおり可決されました。

議案

●宇和島地区広域事務組合の共同処理する事務の変更及び規約の変更について

●平成23年度鬼北町一般会計補正予算(第4号)について

●平成23年度鬼北町国民健康保険特別会計補正予算(第1号)について

●平成23年度鬼北町国民健康保険診療所特別会計補正予算(第3号)について

●平成23年度鬼北町成川溪谷休養センター特別会計補正予算(第2号)について

●平成23年度鬼北町農業集落排水事業特別会計補正予算(第1号)について

●平成23年度鬼北町介護保険特別会計補正予算(第2号)について

●「原発をなくし、再生可能な自然エネルギーへの転換を求める請願書」について

●「消費税によらない最低保障年金制度の創設を求める請願」について

●「年金受給資格期間の10年への短縮を求める請願」について

●「無年金・低年金者への基礎年金在庫負担分3.3万円の支給を求める請願」について

一般質問

◆井上 博議員

【近永保育所について】

問 園庭等の敷地拡張について
答 当該保育所の園庭は、他の保育所と比較するとやや狭いが、保育所設置基準は満たしている。

児童数の減少等もあり、敷地等の拡張は考えていない。保育所現場では、子どもたちの活動を考慮しつつ、限られたスペースを有効に利用する等工夫しながら保育に当たっている。

問 入所児童数増の考えについて
答 現在、待機児童はなく、必要な場合には年度途中においても職員体制等を整え、できる限り入所を受け入れ、子育て家庭の支援に努めている。

問 年長組の保育室について
答 遊戯室と保育室を兼ねている年長組の部屋は、全体行事等を実施する場合に、物品移動の必要も生じるため、年長児専用の保育室を整備することは理想ではある。しかし、遊戯室を保育室として使用することによる保育への支障はきたしていないため、現段階で保育室の増築等は考えていない。

【えひめ南予いやし博について】

問 当イベントの実行委員会設立の状況と対策について
答 南予いやし博の実行委員会設立の趣旨から考えると、その構成員は「でちこんか実行委員会」の委員と重複するため、当委員に兼任いただくこととし、関係者には承諾をいただくとともに、実行委員会開催時には「南予いやし博」の概要等、把握できている情報等を共有していただいているところである。

昨年12月7日に行った「でちこんか2011」の反省会の場で第3回目のいやし博実行委員会を開催し、県からの情報を元に、具体的なイベント内容・計画等協議していただいた。

今後は「広報きほく」への関連記事掲載、県が作成したパンフレットを各戸配付する予定としている。

【水道料金について】

問 本町の水道料金や運営等について
答 水道会計における単年度の純利益については、地方公営企業法第32条第1項の規定により、減積立金に20分の1を下回らない金額を積み立てることとなっており、残りの額は建設改良積立金として積み立て、更にその残額を利益剰余金として翌年度へ繰り越しているところである。

本年度純利益は、資本的支出の借入金返済費用に充当するため、純粋な利益にならない利益である。この利益を水道料金の減額に結びつけることは、資本的支出を損益勘定留保資金のみで補填しなければならぬこと、数年後に純損失が発生することとなる。

本町は広見川あるいはその支流に沿って集落が広範囲に点在している。従って、水道施設も小規模施設が数多く点在しており、投資効果および維持管理面で不利な条件下にある。このように地理的、地形的条件が都市部に比べ非常に悪く、事業を実施する場合の投資費用は必然的に割高となる。そのため、施設整備の財源として借り入れた企業債が多額となっていることから、その償還を始めとする費用の回収にはそれに見合った料金の設定が求められる。

昨今の経済状況や人口減少見込みからしても、水道料金収入の大幅な伸びは期待できない。また耐用年数経過に伴い老朽化する各施設の更新や補修を進める必要があるため、経営見通しは大変厳しく、値下げは困難であると考えている。

運営については、経営の効率化やコスト削減などを行い、健全経営に努めている。

【アルコール跡地の活用方針について】

問 県外の大手企業が土地購入を申し出した場合の対処について
答 基本的には、▼企業誘致促進条例に基づき事業者▼鬼北町の産業振興や雇用機会の拡大を図ることができ、▼経済の発展および町民生活の向上に寄与する企業である▼環境や地域住民の生活に悪影響を与えないなどの条件を満たしていれば、土地購入の申出については大変ありがたいことであり、町としても望むところである。

問 現在の借入金に対する町長の考えについて

答 借入金の活用については、町民生活の向上に寄与する企業である▼環境や地域住民の生活に悪影響を与えないなどの条件を満たしていれば、土地購入の申出については大変ありがたいことであり、町としても望むところである。